

日南中学校2・3年生

「認知症サポーター養成講座」を開催しました

12月11日、日南中学校のご協力により、2年生・3年生を対象に、認知症サポーター養成講座を開催しました。概要をお知らせします。



認知症は誰もがなりうる「脳の病気」

認知症とは、「さまざまな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりするため、さまざまな障害がおこり、生活するうえで支障が出てい

る状態」のことをいいます。

誰にでも起こりうる「脳の病気」によるものです。

日南町の状況は？

日南町の人口は4514人、高齢者人口は2276人、高齢化率は50.5%です。

また、要介護認定者は543人、そのうち認知症（Ⅱ以上）のある人は370人。高齢者の6人に1人の割合となっています（全国と同様の率）。うち、在宅者は220人です。

認知症の症状は？

【中核症状】

脳の細胞が死んでしまっておこる症状です。治療薬は研究中ですが、現在は治すことができません。

- ・覚えられない
- ・すぐに忘れてしまう
- ・年月日、場所、人がわからなくなる
- ・考えるスピードが遅くなる
- ・生活に必要な作業ができなくなる など

【行動・心理症状】

心の状態や、性格、環境等により出る症状です。まわりの人の助けがあれば、よくなります。

- ・自信がなくなり、すべてが面倒になる
- ・不安が強く、気持ちが沈んでしまう など

「まわりの人の助け」とは？

「まわりの人の助け」について知るため、DVDで認知症のある人への対応について、悪い例・望ましい例を視聴しました。

その後の話しあいから、対応のポイントは、「相

手の視界に入ってから、笑顔で、ゆっくりはつきり短く話すこと、返事をゆっくり待つこと」などが大切であると学びました。

認知症の人は、何もわからない人ではなく、本人が一番不安で心細く、苦しんでおられます。まわりの人がその不安を理解し、見守り、さりげなく適切な手助けができるようにしたいものです。

日南中学校2・3年生の皆さんと、認知症について一緒に学ぶ貴重な機会となりました。ご家庭や地域でも、話しあっていたけると幸いです。

【日南町の認知症に関する取り組み】

○認知症個別相談会

西伯病院精神科医師による個別相談

○認知症の人を介護する家族の交流会

毎月、第3水曜日10時～12時

総合文化センターで実施。

○オレンジカフェ・出張オレンジカフェ

認知症のある人やその家族の方が気軽に立ち寄って話したり、相談できる場として開催します。

ご希望があれば各地域でも開催します。

○認知症サポーター養成

認知症について正しく理解し、応援者になっていただくための60分～90分の講習です。

お問い合わせは・・・

○日南町地域包括支援センター

8210374

へお願いします。

